

平成 30 年度社会教育施設評価書（目標設定・実施結果）

施設名 生命の星・地球博物館

評価基準 (達成度)	達成 (目標値 \geq 100%)	○
	ほぼ達成 (目標値 \geq 80%)	△
	未達 (目標値 $<$ 80%)	×

○全館共通項目

		取組の内容		自己点検		第三者評価	
		1年間の目標値	実現方策	達成値	達成度	課題・対応の方向	評価のコメント及び今後の方向性等の提言
利用状況	満利用者	90%	アンケートを実施し、来館者の意見を聞き取り、改善に努める。	99.1%	○	来館者のニーズ把握し、さらに魅力ある施設づくりに務める。	
	入館者	313,069人	対象を厳選した効果的な広報を実施する。	313,533人	○	広報効果の測定結果に基づくより効果的な広報により、さらに利用促進をはかる。	
	への教育・普及事業参加者	16,577人	講演会や観察会を積極的に開催する。	16,513人	△	講座開催時季や参加者の世代構成などを考慮した、天候に左右されにくい講座の設定とあわせて、魅力ある行事づくりをさらに進める。	
	アクセスマネット	418,055人 (人=件)	ウェブサイトの更新頻度を高める。オリジナルな内容の記事をさらに増やす。	429,318人 (人=件)	○	利用者視点に立った情報、オリジナルな内容の記事をさらに増やすことにより、ウェブサイトの魅力をさらに増すよう引き続き努力する。	
資料・収蔵品	活用	館外貸出 831点 特別利用 50,488点	外部研究者との連携をさらに密にすることによって、資料の特別利用を活性化させる。	館外貸出 3,407点 特別利用 14,779点	○ ×	外部研究者との連携をさらに密にすると同時に、資料の更なる蓄積、信頼のおける資料とそれに関連する情報発信に務め、資料活用をさらに活性化させる。	
	維持管理	棄損 無し	IPM の考えに基づき、虫害等による資料の破損や劣化を未然に防ぐ。あわせて、紫外線や振動等による劣化を防ぐ。	棄損 無し	○	引き続き IPM の考えに基づき、虫害等による資料の破損や劣化を未然に防ぐ。あわせて、紫外線や振動等による劣化を防ぐ。	
調査研究	(研究成果の公開等) 発表・印刷物等	学術著作 79点 普及著作 71点	外部研究者との連携をさらに密にすることによって、研究の進展をはかる。外部資金の獲得にさらに積極的に取り組み、調査研究の充実をはかる。	学術著作 92点 普及著作 76点	○ ○	引き続き外部研究者との連携をさらに密にすることによって、研究の進展をはかる。外部資金の獲得にさらに積極的に取り組み、調査研究の充実をはかる。	

施設運営等	情報発信	の事業情報 の発信情報	302 件	ウェブサイトの 活発な更新につ とめる。	405 件	○	利用者視点に立った情 報、オリジナルな内容 の記事をさらに増やす ことで内容の更新に努 める。	
	事業等収入及び 観覧料収入	観覧料 54,421 千円 事業収入 3,274 千円	来館者増に繋がる 各種の取り組みを積極 的に実施する。	観覧料 48,723 千円 事業収入 2,284 千円	△ ×		魅力あるテーマによる 特別展・企画展の開催 など、来館者増に繋がる 各種の取り組みを積極 的に実施する。	
	施設点検	点検を 実施す る。	防火・防災につい て、来館者視点で の点検を実施す る。	点検を 実施し た。	○		防火・防災について、来 館者視点での点検を引 き続き実施する。	
	自己研鑽及び 他館の研究							

注) 各論は各館独自の取り組みを中心に評価項目や指標を設定する。